

おいしい山形

No. **331**

平成28年 / **11**月号

山形県漁業協同組合
広報誌

漁民と手をつなぐ広報誌



おいしい山形 旬の魚キャンペーン

10月13日(休)、おいしい山形旬の魚キャンペーンを「おーばん桜田南店・上山店」にて開催いたしました。鮮魚コーナーは紅えびやワラサをはじめ、サワラの炙りや、アオリイカの刺身など沢山の庄内浜鮮魚で埋め尽くされました。開店するとすぐにお客さんが集まり、普段見ないような魚種に興味津々。食べ方を説明すると喜んで買っていかれました。コープしろにしでの「漁協直営庄内海丸」の活動もあり、徐々に内陸に庄内浜鮮魚が浸透していることを実感しました。

山形県水産業賞及び 2016年度(第31回)漁協運動功労者表彰



統合に尽力後、会長に推され県内全般における操業上の漁業調整など諸問題の解決に奔走されました。平成12年には、それらの功績と実績が認められ山形県機船底曳網漁業協議会長に就任し、平成15年に発生した韓国籍貨物船沈下コンテナの撤去について、沿岸市町及び山形県、更には国までも動かしコンテナ撤去を実現させた功績は大なるものがあります。平成17年には、

産地消並びに魚食普及の推進、外国人漁業研修生制度の導入等、代表理事組合長として協同運動の推進、発展に貢献した功績により2016年度(第31回)漁協運動功労者表彰も受賞されており、心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

平成28年度山形県水産業賞は、五十嵐安哉山形県漁業協同組合代表理事組合長が受賞しました。去る11月17日に山形市「ホテルメトロポリタン山形」にて、表彰式が催され吉村県知事より表彰状と盾が授与されました。

五十嵐組合長は、昭和35年より家業の漁業に従事。小型底曳網漁業を経営し、北部と南部の底曳網漁業の船頭会の

山形県水難救済会長、同年、山形県漁業協同組合理事としてその任にあたり、平成20年には代表理事組合長に就任しました。漁民の信頼も厚く現在3期目(8年)となり、全国組織団体の要職も務めるなど本県水産業の振興、発展に貢献されました。

また、国が進める「浜の活力再生プラン」への参画、地域水産物ブランドの育成、地

酒田市市民表彰



池田 亀五郎氏

山形県機船底曳網漁業協議会長として水産資源の維持管理や鮮度保持のための諸対策を行うなど、沿岸漁業の振興と発展に尽力されました。



齋藤 梅三氏

日本海マス流通漁業船団長を務め、平成20年からは外国人漁業研修生の受入れ事業を推進するなど地域漁業の振興に大きく貢献されました。

おめでとーございませう

理事会情報

平成28年度 第6回 理事会議案
開催日…平成28年10月25日(火)
場所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 浜の担い手漁船リース事業に関する漁業近代化資金の借入れについて
- 2 うぐい・こい・ふな刺網漁業の承認について
- 3 冬期終業時間の一部変更について
- 4 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について

【報告事項】

- 1 平成28年度上半期事業概況について
- 2 平成28年度第2四半期における販売促進活動について
- 3 平成28年9月末貸付金の状況について
- 4 平成28年9月末資金運用状況について
- 5 平成28年9月末余裕金の運用状況について
- 6 信用・経済事業貸倒債権等の回収状況について
- 7 貸付金利率の改定について
- 8 平成28年度指導事業賦課金徴収実績について
- 9 平成28年度栽培漁業実施結果について
- 10 石油製品価格の改定について
- 11 平成29年度水産業に関する要望書について
- 12 平成28年度内部監査結果について
- 13 コンプライアンス推進委員会の開催について
- 14 由良市場荷さばき上屋設置計画の延期について
- 15 平成29年度新規採用職員の内定について
- 16 組合員の加入・脱退及び減資について
- 17 平成28年度第2四半期の「庄内海丸」の収支について
- 18 その他

平成28年度補正事業 「浜の担い手漁船リース事業」の 募集と概要

(H28.10.28現在版)



☆中古漁船を前提に、新たに漁船を求めるにあたって、その費用(税抜)の半額を国が支援します。

中古漁船を探したが、どうしても見つからない、中古漁船を改修した費用の方が新造した場合の費用を上回る。この場合は、新造も認められています。

☆初期費用が必要ありません。

造船費用等は漁協が支払います。

漁業者は、その補助を受けた額の残り部分(半額+消費税額)を「リース料」として支払っていきます。

リース料の支払い期間は、対象漁船の耐用年数以上となり、何年のリース契約を結ぶかはそれぞれのケースにより異なります(漁船の耐用年数、新造12年以上)。

▶どんな漁業者が利用できるのか

- 申請時55才未満の者(漁業後継者がいる場合は、後継者が45歳未満)
- 法人は、償却前利益が確保されていること
- 5年以内に漁業所得を10%以上向上させること。自力で次期代船の取得が可能となるよう利益を留保すること

▶その他

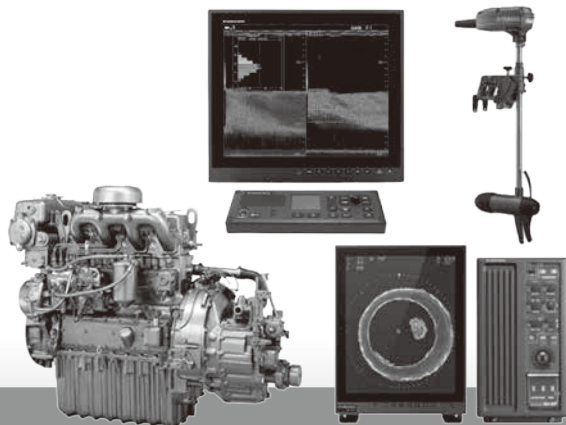
- 青色申告の際に、「漁船」の取得額から補助金分を控除できます(減価償却費の削減が可能です)。
- 取得漁船に係る一切の費用(漁船保険料・固定資産税・登録免許税・メンテナンス費用など)は、借受者である漁業者が負担します。このことで、税務上その漁船は漁業者の所有物であるとみなされます。
- リース期間終了後は、漁船を漁業者に譲渡する「所有権移転ファイナンスリース」で、リース契約の途中解約はできません。
- 交付決定後に工事費用がかさんだ場合は、借受者の自己資金での対応となります。
- 造船所の混雑具合によっては、着工が来年度になることも考えられますが、交付決定さえ受ければ、年度をまたいでこの事業を使えます。
- 今年度の最終申し込みは12月中旬です。

競争力強化型機器等導入緊急対策事業(H28補正)の応募受付について

昨年度に引き続き、漁業の持続可能な収益性の高い操業体制への転換を目的として、生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器購入への支援制度が創設されました。

受付期間は、11月1日～12月10日としておりますので、下記内容を確認の上、希望される方はお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

なお、本事業は1個人(法人)あたり1台(一式)までであり、古い機器から新しい機器への新替が対象となります。



1. 補助率

本体価格の1/2(工事代金、部品代、資材代、消費税は除く)上限は2,000万円まで

2. 補助の対象になる機器

船内機、船外機、船内外機、魚群探知機、ソナー、いか釣り機、LED集魚灯、揚網機 他

3. 補助の対象にならない機器

同じ型式で同じ馬力数のエンジン、潮流計、サイドスラスター、GPSプロッター、レーダー 他

4. 支援対象になる人

漁業経営セーフティネット構築事業へ加入していること 他(現時点で加入していない方は対象となりません。)

5. 取組の目標

5年以内に漁業所得を10%向上させること。(毎年、国に対し目標達成の報告書を提出する必要があります。)

事業応募にあたりましては、上記以外の他にも条件などがあり、必要書類もありますので、詳しくは下記までお問い合わせ頂きますようお願いいたします。

お問い合わせ先：各支所・出張所・指導課

鼠ヶ関 とれたて!お魚市 エビ・カニ まつり



カニ汁

10月22日(土)さわやかな秋晴れの中、念珠関総括支所の市場内にて「エビ・カニまつり」が開催されました。今年の来場者は約3千人。午前11時に開場し、1番乗りの米沢から来た鼠ヶ関のイベントの常連さんは、朝の7時から並んでいました。

今回は大鍋にカニ汁500食、エビ汁400食を用意し、両方完売。海丸では活ズワイガニ、サケ、サワラなどの鮮魚や、カレイやサザエの刺身を販売し、お客様の人気を集めていました。



エビ汁

昼頃には市場内で子供会による辨天太鼓の演奏があり、来場者はカニ汁に舌鼓を打ちつつ、演奏を楽しみました。



いか焼き



フライドブリ

「つるおか大産業まつり2016」へ出店!

庄内浜の魚のPRのため、10月15日(土)から10月16日(日)の2日間に亘り開催された大産業まつりに、山形県漁協が出店しました。

イベント会場は鶴岡市小真木原公園内で、農林水産業、工業など約40団体が出店し、2日間で約3万人の来場者がありました。

漁協の出店は2日間とも好調で、フライドチキンの魚版として開発した「フライドブリ」や、トップブランドとプライドフィッシュに登録されている「紅エビ」の唐揚げ、いか焼きを販売しました。

また、海丸にはタイ、ホウボウ、ノドグロのお刺身セットと、サワラ、アカラ、アオリイカ、ハララゴ等

まるさかなの丸魚が並び、たくさんのお客様が集まりました。

入場者のピークはお昼時の11時~12時30分で、紅エビの唐揚げは1日目ですべて完売。2日目はフライドブリ約200食と、いか焼きも13時には売り切れとなりました。

鮮魚販売では、「旬」「産地直送」「由良港」「鼠ヶ関港」というキーワードでお客様に声をかけると、「おやっ?」と立ち止まる人が多く、ハララゴはあっという間になくなりました。

庄内は魚食文化が浸透していると言われています。料理方法も自身の経験を踏まえて熱心に聞くお客様もおり、改めて「魚を食べたい」という意識の高さと認知度を痛感することとなりました。

要望書

1. 水産庁監視船による取締りを強化し、わが国EEZ内で違法操業を繰り返す外国船を速やかに排除していただきたい。
2. 1の対策と併せて、海上保安庁と連携した合同取締りを行い、違法操業外国船に対するわが国の強い姿勢を顕示していただきたい。



北朝鮮の木造船、中国のトラ網船など数百隻による日本のEEZ内での違法操業が横行!!

中型イカ釣り漁船の操業海域である大和堆（日本の排他的経済水域：EEZ）での北朝鮮、中国籍の漁船による違法操業が横行していることを問題視した山形県漁協と石川県漁協の両組合長が10月21日(金)農林水産大臣、水産庁長官、関係代議士に強い姿勢で排除願う旨の要望書を提出しました。

スルメイカの水揚げは全国的に激減しており、特に中国漁船のトラ網による一網打尽の違法操業が脅威となる中、加工原料確保にも支障を来す事態となっており早急な対応が望まれます。



チャレンジやまがた2016 チョコキーキャンペーン!

第2次キャンペーン：12月1日～平成29年2月28日まで



チョコ・新医療共済  で

もうひとランク上の保障を目指しませんか?

①手術保障の拡充

- 「公的医療機関等の対象となる手術・放射線治療」を幅広く保障します。
- ポイント1 共済金の支払対象となる手術（件数）は現行の約2倍に拡大。
 - ポイント2 身体への負担の大きい開頭術・開胸術については40倍とし充実した保障を提供。

注) 公的医療保険の対象手術であっても、「創傷処理」や「抜歯手術」など、一部手術共済金の支払われない手術もあります。

②「先進医療特約」の新設

- 小さな負担で大きな保障を受けることができ、安心して治療に専念できます。
- ポイント 「治療」だけでなく、「検査」や「診断」についても対象となります。

○公的医療保険等の対象外で高額な費用のかかる先進医療をうけたときに、技術料に相当する額をお支払い。
 先進医療共済金 = 技術料に相当する額 (技術料が1万円未満の場合は1万円とします。)

注) この制度は、平成25年10月1日以前に締結した共済契約には適用しません。

上記は保障の概要を説明したものです。ご契約の際は、重要な事項が記載されている「契約概要」「注意喚起情報」および「ご契約のしおり・共済約款」を必ずお読み下さい。詳しくは山形県漁業協同組合もしくは共水連東北事業本部山形支店までお問い合わせください。

● 我ら海の子、元気な共済



今年も多くの団体の皆様に清掃活動をしていただいております。今回は、6団体をご紹介します。

平成28年3月26日、藻場再生研究クラブの皆様14名が参加し、小波渡漁港の岸壁周辺の海上清掃と潜水作業による海中清掃を行っていただきました。

平成28年4月15日、油戸住民会の皆様60名が参加し、油戸海岸を清掃しました。タールボール対策として長靴にビニールカバーを着用したり、軍手をゴム手袋に変えたりして清掃していただきました。

平成28年4月19日、堅苔沢漁業会の皆様50名が参加し、堅苔沢漁港に漂着したロープ等のゴミを大量に片付けていただきました。

平成28年4月20日、鶴岡ゴールドマリーナクラブの皆様40名が参加し、加茂港の船揚げ場の清掃をしていただきました。

平成28年6月25日、鶴岡市由良自治会の5名の方々より、由良漁港の海中に大量に浮いている藻を取り

除いていただきました。また、8月3日には、由良海岸ふれあい広場にゴミを持ち帰りましょう等、ルールを守ろうと呼びかける啓発看板を設置していただきました。

平成28年7月7日、新庄市立八向中学校1年生の皆様、27名が参加し、海浜自然の家宿泊学習の一環として、遊佐町の釜磯海岸の清掃をしていただきました。

海と渚の活動に御協力いただいた皆様、お疲れ様でした。今後も海と渚の環境美化への御協力をよろしくお願いいたします。

未来につなげよう

青い海と美しい渚

お問い合わせ先
庄内総合支庁 水産振興課内
海と渚環境美化推進協会
事務局 担当：今野
☎0234-24-6161

漁船セーフティラリーみちのく2016 実施中 ～ 声かけでつなげる絆 無事故の輪 ～

主催 山形県漁船海難防止協議会、山形県農林水産部及び酒田海上保安部

漁船及び漁業者の事故の減少を図ることを目的として、漁業協同組合及びその組合員が、「安全操業」、「安全運航」の声かけ運動、「見張りの徹底」の推進等を行う「漁船セーフティラリー」を山形県漁業協同組合のすべての支所等が参加し、10月1日から12月31日までの3ヶ月間実施中です。 お問合せ先：酒田海上保安部交通課 ☎0234-24-0055

水揚情報

平成28年10月31日現在

(単位：千円)

支所別 区分	水揚合計	水揚地内訳								
		吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	
9月末迄水揚累計	1,320,438	60,318	65,906	575,691	79,979	134,819	108,864	48,393	246,468	
月間水揚	県内船水揚	337,596	10,875	9,532	165,222	13,793	39,701	21,371	4,876	72,226
	県外船水揚	7,431	0	0	7,431	0	0	0	0	0
	合計	345,027	10,875	9,532	172,653	13,793	39,701	21,371	4,876	72,226
前年同月水揚	284,705	9,619	3,975	94,033	21,180	58,301	32,099	5,706	59,792	
本年度水揚	県内船水揚	1,447,222	71,193	75,438	537,148	93,772	172,735	130,235	53,269	313,432
	県外船水揚	218,243	0	0	211,196	0	1,785	0	0	5,262
	合計	1,665,465	71,193	75,438	748,344	93,772	174,520	130,235	53,269	318,694
前年度水揚累計	1,602,314	74,432	93,371	592,605	110,919	216,549	152,461	56,659	305,318	
増減	63,151	-3,239	-17,933	155,739	-17,147	-42,029	-22,226	-3,390	13,376	
本年度水揚計画	2,540,000	120,000	115,000	993,000	132,000	318,000	198,000	74,000	590,000	
達成率	65.5%	59.3%	65.5%	75.3%	71.0%	54.8%	65.7%	71.9%	54.0%	

今あがっている魚 - 10月のベストテン - 前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額(千円)			魚獲量(kg)	魚獲量(kg)		
順位	魚名	金額		順位	魚名	金額
1	するめいか	138,588 ↗	1	するめいか	194,952 ↗	
2	さわけ	32,893 ↘	2	たら	68,162 ↗	
3	たら	30,894 ↗	3	さわけ	53,776 ↘	
4	さわら	20,877 ↗	4	べにずわい	46,530 ↗	
5	ずわいがに	16,719 ↗	5	ぶり・いなだ	26,615 ↗	
6	女がに	12,627 ↗	6	さわら	26,219 ↗	
7	たいてい	11,818 ↘	7	めばる類	13,610 ↗	
8	はたはた	11,480 ↗	8	たいてい	12,915 ↘	
9	ほっこくあかえび	9,727 ↗	9	はたはた	12,255 ↗	
10	べにずわい	6,514 ↗	10	あじ	8,862 ↘	



月間MVP



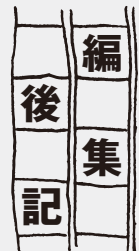
月間MVP

◎今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。振り返ってみると平成二十八年は大規模自然災害の多い一年でした。四月の熊本地震、十月の鳥取地震、台風・温帯低気圧に伴う豪雨災害と全国で多くの方が被災されました。改めて心よりお見舞い申し上げます。いつ起こるか分からないのが自然災害です。これから冬本番を迎えるにあたって、漁の安全を願うとともに今一度災害への備えを再確認しましょう。

◎9月に天皇后陛下のご臨席のもと開催された「第36回全国豊かな海づくり大会」や「第36回全国豊かな海づくり大会」や「第36回全国豊かな海づくり大会」よりお手渡しが行われたヒラメとアワビの記念放流が由良・吹浦を会場に行われました。今年は海づくり大会・海づくりフェスタをはじめ、大漁祭、産業祭、海丸と県内外多くの方に本県水産業・庄内浜の魚に触れていただくことができました。山形県の漁業・水産業が今後ますます発展することを心より祈念いたします。

◎「すいさん山形」はこれからも地域の皆様のお役に立てる紙面づくりを心がけていきたいと思います。今後も充実した広報誌作りに努めて参りますので、皆様からのご意見・情報をご提供いただけますようお願いいたします。

JF共水連東北事業本部山形支店
主任 坂本 淳





御手渡し魚 記念放流



9月11日に行われた「第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～」の記念式典において、土門拓也さん(遊佐町)と榊原英樹さん(鶴岡市)が、天皇陛下からそれぞれヒラメとアワビの御手渡しを受けました。御手渡しを受け、10月4日に吹浦漁港で、10月9日に由良海岸で御手渡し魚の記念放流が行われました。

遊佐町の記念セレモニーは吹浦漁港で行われ、県・遊佐町・漁協関係者10名と地元漁業者25名が参加し、参加者全員によるヒラメ放流を行いました。



10月4日 吹浦漁港にてヒラメ放流



右手前が土門拓也さん



前列左から2番目が榊原英樹さん



10月9日 由良海岸にてアワビ放流

鶴岡市の記念セレモニーは由良コミュニティセンターで行われ、県・鶴岡市・漁協関係者6名と地元漁業者7名が参加し、庄内総合支庁全国豊かな海づくり大会推進課の松田課長と榊原さんによるアワビ放流を由良海岸にて行いました。全国豊かな海づくり大会の開催を通じ、日本海が「豊穡の海」となること、栽培漁業を通じ「作り育てる漁業」がますます発展することを心より祈念いたします。



9月16日に山形県持続的漁業経営支援事業の第3号船となる海皇丸(本間健太郎氏 2.9t)が完成し進水式が行われました。

船体、機関ともYANMAR社で船体は細密部まで船主の注文通り「庄内浜延縄仕様」に完璧に仕上がりました。船名は船主自らの手書きで名入れされており、いつも見る豪快さに加え緻密な一面を垣間見た感がありました。当日は、家族や小岩川漁港近隣から大勢の関係者がお祝いの席を囲み、和やかに祝宴が行われました。漁協からは五十嵐組合長も出席され、大漁はもちろん、航海の安全が大切である事が述べられました。

山形県持続的漁業経営支援事業は山形県独自の事業で、4号船の建造計画もあり庄内浜の活力再生に大きく貢献しています。



10月9日(日)待ちに待った第8回由良大漁祭が由良総括支所内で行われました。台風接近による連日の時化で開催が危ぶまれましたが、神様が見てくださったのか天候が回復していき、無事開催することができました。

当日はあいにくの雨模様ながらも開場2時間前には並んでいる人もおり、200mにも及ぶ長蛇の列となっております。

10時半に開場となり、お客様が一気に入場。鮮魚販売のブースは溢れんばかりのお客様でいっぱいになり、毎年人気の魚の詰め放題も押すな押すなの大盛況で、午前中にはほぼ完売となりました。

また、市場外にはサザエ焼き、アナゴ焼き、アンコウ汁、焼き魚、から揚げなどのブースが設けられ、美味しそうにほおばっているお客様の笑顔が印象的でした。

突然の雨や突風などのハプニングがありました。今年も大成功の由良大漁祭。雨にもかかわらず来場くださったお客様、本当にありがとうございました。また、協力くださった関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

由良総括支所 鈴木 紳之介